



# 成田中だより

令和5年7月7日  
成田市立成田中学校  
TEL 0476-22-0304  
生徒数 503名  
文責 濱谷 昌人

《令和5年度学校教育目標》『 夢 へ 』

「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」を生徒とともに目指します！

## 最後の夏が始まる！渾身の宣誓とエール！・・・・部活動壮行会



◎バスケットボール部のW部長と剣道のK部長が決意の宣誓！

◎1.2年生代表で結成された新鋭部の渾身のエール！

6月30日（金）、夏の総合体育大会やコンクール・作品展へ向けての壮行会が行われました。まずは、4年振りに全校生徒が体育館に集合して壮行会を開催することができたことが何よりでした。これから夏の総合体育大会や吹奏楽コンクール、そして、美術作品展に臨む皆さんのために、H.N.さん(2年)を団長、I.H.さん(2年)を副団長とする1・2年生の有志応援団が、精一杯のエールを送りました。これから大一番のステージに立つ各部の皆さんにとっては、大きな励みとなったに違いありません。そして、最後に、バスケットボール部主将の W.N.さん(3年)と剣道部主将の K.N.さん(3年)が、各部の部長を代表して立派な選手宣誓を体育館いっばいに響かせました。二人の誓いの言葉は、部活動を頑張ってきた3年生の仲間達の心にしっかりと響いたに違いありません。最後の夏を前に決意も新たになったことでしょうか。迷うことなく本番のステージに向かってください。

そして、忘れてはいけないのは、ここまで頑張ってきたものの最後の大会・コンクール・作品展に出場できずに終わってしまう3年生もいるということです。部活動の大変厳しいところです。私自身も、壮行会で話したとおり、大学時代には必死に練習したにもかかわらず、一度も代表選手に選ばれることがなく、本当に辛かったことを今も忘れません。それでも、代表として頑張る仲間や後輩を、我を忘れて応援していたことを覚えています。共に必死に練習してきた仲間だからこそ、国立競技場で活躍する姿が、自分のことのように嬉しくてたまらなかったです。たとえ、出場や出展が叶わなかったとしても、ここまで互いに励まし合い、高め合ってきた仲間達です。『最高の応援とサポート』という形で、一緒にステージに立ってください。

最後に、学校の部活動には所属せず、クラブチームや道場等で頑張ってきた人もいます。その道を選択するには、大変な勇気が必要だったのではないかと思います。学校での活動でないだけに、学校生活や日常生活の中では色々辛いことや寂しいこともあったと思います。そんな学校外の場で努力してきた皆さんのことも、同じように応援しています。必ず力を出し切ってきてください。

4年振りに全校生徒が集まった体育館で、熱いエールを受け、それぞれの部が今年の夏をきっと「輝いた夏」にしてきてくれることと信じています。さあ、いよいよ明日（7/8）から、夏の総体が始まります。

## 【1・2年生から3年生への応援】



～ 後輩達から精一杯の応援が届きました！ ～

【各部決意表明】 各部の決意表明の様子です。それぞれの部の想いが伝わってきました！



◎野球部

◎サッカー部



◎陸上競技部

◎剣道部



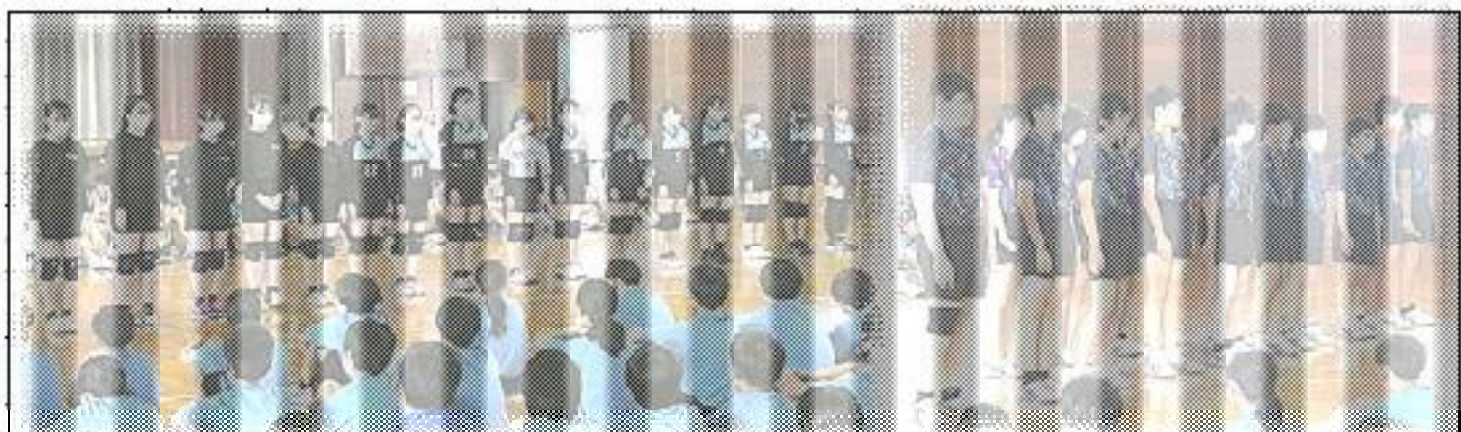
◎男子ソフトテニス部

◎女子ソフトテニス部

「練習は嘘をつかない！」自分自身と仲間を信じて！



◎男子バスケットボール部 ◎女子バスケットボール部



◎バレーボール部

◎卓球部



◎美術部

◎ボランティア部



◎吹奏楽部

## 七夕・・・学校教育目標「夢へ」を掲げる成田中に似合います



1・2年生の教室や廊下には、色とりどりの短冊で彩られた笹が飾られています。3年生の廊下には、笹の掲示物が貼られたラシャ紙の上に、学年一人ひとりの願い事が描かれた短冊が飾られています。純朴な成中生らしくて微笑ましいです。廊下を歩いているとあったかい気持ちになってきます。私も学級担任をしていたときは、毎年必ず教室に笹を用意していたことを思い出します。今日は七夕です。1年に1度、天の川を渡って彦星様と織姫様が会える日です。

晴れて良かったです。会いたい人に会える日・・・いいですね。そして、この夜に願い事をすると言われている。不思議と短冊に書いた願い事が現実になりそうな気がしてしまうのは、みんなも一緒じゃないですか。学校教育目標『夢へ』を掲げる成田中学校には、とても似合う掲示物だと感じています。

## 千葉県通信陸上競技大会で、100mNさん(2年)と走幅跳Kさん(3年)が入賞！ 第2ブロック大会最終種目のバレーボールは第3位！



関東大会・全国大会へとつながる千葉県通信陸上競技大会が7/1(土)・2(日)の両日千葉県スポーツセンター(天台)で開催されました。この大会は、ハイレベルな標準記録を突破した選手のみ出場することができる千葉県大会です。県内の中学生アスリート達が全国大会(標準記録突破)や関東大会(3位以内)を目指して競い合う千葉県中学校陸上界最高峰の大会と位置づけられています。

ただ、ここ数年間続いたコロナによる規制などの影響でしょうか・・・過去の大会に比べ、出場選手が少なくなっていることに驚きました。中学校部活動の練習環境が変わってきているのでしょうか。県大会出場のための標準記録を突破することが、以前より難しくなっているのだと感じました。そんな中、本校からは3人の生徒がこの大会に出場しました。立派だったと思います。そして、この春からぐんぐん記録を伸ばし続けているN.I.さん(2年)が2年男子100mで決勝に進出し見事に6位入賞を果たしました。さらには、K.M.さん(3年)が共通女子走り幅跳びで、自己ベストを更新する5m20cmの大ジャンプを見せ7位入賞を果たしました。2人とも全国大会や関東大会には届かなかったものの、陸上競技の盛んな千葉県での上位入賞は素晴らしかったです。そして、もう一度全国大会へ向けてのチャレンジができる県総体の場での活躍を期待しています。

また、予選リーグ3連勝で決勝トーナメントに臨んだバレーボール部は準々決勝で快勝した後の準決勝で、最後まで善戦したものの残念ながらデュースの末敗戦となり第3位という結果でした。昨年度の印旛郡市新人戦を制しているバレーボール部としては悔しい結果だったと思いますが、F先生の温かい励ましとMコーチの熱い指導のお陰で、チームの雰囲気はどんどん良くなってきています。この大会で、アタッカーとして活躍したS.A.さん(3年)が優秀選手に選出されたこともチームを勢いづけていくと思います。さらに、チームの状態は上がっていくことと期待しています。この上昇気流に乗って、最後の総体にはベストの状態を挑んでください。

